

Actian Zen v15 にアップグレードする 10 個の大きな理由

10 個の理由 (概要)

1. Windows Server 2012 および Windows 8.1 のサポート終了
2. Actian Zen Core (Android 版/iOS 版) の提供
3. SQL パフォーマンスの向上
4. Btrieve 2 API を介して最新プログラミング言語に対応
5. JSON、BLOB、および時系列データのサポート
6. AES 256 ビット暗号化に対応
7. Client Reporting Engine の搭載
8. ライブ VM マイグレーションおよび Docker のサポート
9. オンライン最適化
10. Unicode のサポート

もっと理由を知りたい方はこちら

製品情報、ホワイトペーパー、成功事例、開発者ニュースなどについては、www.agtech.co.jp/actian/product/ をご覧ください。

[Zen Core データベースをお試ください。](#)

NoSQL データベース エンジンの機能を完全に備えており、アプリケーションに Zen Core を組み込んで配布する開発者のためのロイヤルティフリーのライセンスが提供されます。

[Zen を独習してください。](#) 次世代のエッジ データ管理機能のインストール、構成、組み込みをすばやく簡単に習得できます。

Actian (旧称 Pervasive®) データ管理製品はお客様のビジネス クリティカルなアプリケーションを成功に導くために、日々活用されています。

この完全なデータ管理ソリューションは、低い総所有コストで、強力、安全、スケーラブルなエンジンによって優れたパフォーマンスを提供してきました。そしてこのたび、自信を持って、次世代の主要ソリューションである Actian Zen v15 データベース ファミリーをご提供いたします。Actian Zen Cloud および Enterprise Server v15 データベース (Windows/64 ビット Linux/macOS 版)、Actian Zen v15 Workgroup (Windows 版) は、管理者不要、組み込み/バンドル可能、微小なフットプリント、SQL/NoSQL アクセスなど、これまで利用されてきた主要な機能をすべて継承しています。今日 Actian Zen v15 にアップグレードすれば、その新しい機能によって明日の成功を確かなものにすることができます。

理由1. Windows Server 2012 と Windows 8.1 のサポート終了

ほとんどの Windows 商用ユーザーは古いバージョンの Windows を使用しています。Windows 7 および Windows Server 2008 の延長サポートは 2020 年 1 月をもって終了しました。Windows 8.1 および Windows Server 2012 の延長サポートも、それぞれ 2023 年 1 月と 2023 年 10 月で終了します (メインストリーム サポートはどちらも既に 2018 年で終了しています)。サポートされていないバージョンは、Windows Update からバグ修正もセキュリティ修正プログラムも受け取れなくなります。IT サポート スタッフやエンド ユーザーは、情報セキュリティおよびシステム安定性について心配する必要があります。Actian Zen v15 は Windows 10、Windows 11、Windows Server 2019 および 2022 をサポートしています。また、それ以前のバージョンの Windows および Windows Server で実行される、過去にリリースされたバージョンすべての Zen/PSQL と互換性があります。Actian Zen v15 に移行することで、既存の Zen/PSQL の SQL クエリや Btrieve API 呼び出しをサポートするためにコードの再コンパイルが必要になることは通常ありません。Actian Zen v15 は以前のバージョンの Zen/PSQL や、1994 年まで遡れば Btrieve と同じデータ ファイル形式をサポートしているため、移行時にアプリケーションの変更も不要です。Actian Zen v15 をインストールし、既存の Zen/PSQL データ ファイルとアプリケーションをコピーして実行するだけです。

理由2. Actian Zen Core (Android 版/iOS 版) の提供

Microsoft が、デスクトップ アプリケーションやラップトップ アプリケーションを Windows 10、Windows 11、および Windows Server 2022 へ移行するよう勧めていることは別にして、多くのエンド ユーザーは、タブレットやスマートフォンに備わっている機能を持つアプリケーションやフロントエンド コンポーネントを望んでいます。特に、ローカル データまたは複雑な対話操作を必要とする POS やそれに類似したアプリケーションの場合はそうです。これらのデバイスの大半は Android および iOS ベースのプラットフォームであり、ビジネス クリティカルなアプリケーションの要件と同様、ローカルの永続的なデータに関して、未接続な状態やネットワーク帯域幅が制約されている環境で動作する機能があることなどの要件があります。Actian Zen v15 Core データベースの Android 版/iOS 版は、モバイル デバイスおよび IoT デバイスに対して、Actian Zen v15 でサポートされる他のプラットフォームと同様のセキュリティとデータ形式を提供するため、異なるデータベース システム間やファイル システム間の ETL にかかるコストおよび統合の負担を回避できます。

理由3. SQL パフォーマンスの向上

Actian Zen Cloud および Enterprise Server (Windows/ Linux/ macOS 版) は、SQL パフォーマンスが向上したネイティブ 64 ビット エンジンを提供し、Actian Zen Workgroup (Windows 版) はネイティブ 32 ビット エンジンを提供します。また、Actian Zen は、JDBC 2 よりもパフォーマンスが向上する JDBC 4 ドライバーをサポートしているほか、幅広い言語に対応できるよう ADO.NET および ODBC もサポートしています。最新バージョンである Actian Zen v15 は、Microkernel と SQL エンジンの重要なチューニングおよび最適化が行われた結果、Zen v14 以前のバージョンと比べて、クエリ タイプおよびインデックスを付けるレベルによっては、SQL パフォーマンスが 20% から 90% 向上しました。

理由4. Btrieve 2 API を介して最新プログラミング言語に対応

Actian Zen v15 では、SQL パフォーマンスが以前のバージョンの Zen/PSQL よりも向上しますが、NoSQL (Btrieve) のパフォーマンスは常にそれを上回ります。多くのアプリケーション開発者はデータにアクセスする場合、特に、非リレーショナル データやインライン処理指向データ管理 (食料品店のバーコードリーダーなど) のデータにアクセスする場合には、標準的なプログラム API を使用することを好みます。Actian Zen v15 は、Btrieve 2 と呼ばれる、Btrieve 用の新しい簡素化されたオブジェクト指向の C/C++ API も提供しています。これには、Python、Perl、C#、JavaScript、PHP などのスクリプト言語用の SWIG ファイルも含まれているため、それらの環境でネイティブ オブジェクトを使用して新しい API にアクセスできます。

この API の Windows DLL および Linux ライブラリは Zen v15 と共にインストールされ、従来の API 呼び出しと並行してアクセスすることができます。

理由5. JSON、BLOB、および時系列データのサポート

Actian Zen には、JSON、BLOB、および時系列データをサポートするための新しい Btrieve API 関数や機能がいくつか追加されており、これらは他のデータ対象を絞って作られたドキュメントストアや時系列データベースと同等以上のパフォーマンスを実現しています。ビデオ、オーディオ、およびセンサー データ ストリームなどの時系列データをサポートするために、Btrieve には現在のタイムスタンプ値 (ナノ秒単位) を自動的に含める AUTOTIMESTAMP という新しいキータ입が追加されました。ファイル サイズは 64 TB まで拡張されており、BLOB の処理が可能になったほか、Btrieve Extended オペレーションでの JSON データのフィルタリングもサポートされています。

理由6. AES 256 ビット暗号化に対応

Actian Zen は、PSQL ユーザーの保存データのセキュリティを強化するために、最大 32 バイトまでのオーナー ネームを持つファイルの AES 256 ビット暗号化機能を追加しました。PSQL v12 以前のバージョンでは 128 ビット暗号化を提供しており、リリース時点ではそれで安全でしたが、多くの産業や使用事例における最近の厳格なセキュリティ要件には準拠しない可能性があります。

理由7. Client Reporting Engine の搭載

大規模なレポートクエリを実行すると、PSQL Server v12 以下では大きな負荷がかかるため、小さなトランザクションから成る標準的なストリームではリソースの競合が発生する可能性があります。Actian Zen は、Zen Reporting Engine をプロキシ サーバーとしてセットアップすることにより、Zen Server へのレポート実行の要求を減らします。この特殊な 64 ビット エンジンは、Actian Zen リレーショナル エンジンと Actian Zen クライアント キャッシュ エンジンの機能を組み合わせることで、大規模な SQL ジョブの負荷を削減し、データベース サーバーの作業量を減らします。大規模なクエリをサーバーでなくレポート エンジンで実行すると、通常の実稼働オペレーションのパフォーマンスを向上させることができます。

理由8. ライブ VM マイグレーションおよび Docker のサポート

Actian Zen v15 はマイグレーション サポートを提供しており、VMware vMotion (および Nutanix AHV、Microsoft Hyper-V、Citrix XenServer の同等の機能) を使用して、異なる物理マシン間で Zen 15 サーバー インスタンスの仮想マシンを移動させることができます。その際、Zen インスタンスがサービスを実行しているクライアントまたはアプリケーションを切断する必要はありません。また、Actian Zen v15 は、Windows および Linux ベースのシステムに対して Docker コンテナのサポートも提供しています。

理由9. オンライン最適化

データベース ファイルの断片化は時間の経過とともに進み、パフォーマンスを低下させますが、パッケージ アプリケーション プロバイダーはデプロイされた環境を一般的には保守できないため、PSQL v12 より前のバージョンではダウンタイムなしで断片化を減らす方法はありませんでした。Actian Zen には自動最適化が組み込まれています。この機能は、最近開かれたファイルのうち、10 MB を超えている、15% 以上が断片化されている、または 5% 以上のレコードが順序不同になっているファイルを処理対象として自動的に実行することができます。オプションとして、バッチ モードなどで複数ファイルの監視、開始、停止、および実行を構成できるコマンドライン オプションがあります。

理由10. Unicode のサポート

Actian Zen のグローバル化サポートにより、1 つのデータベースに複数の言語でテキストを格納できるため、アプリケーションは要求されるどの言語でもデータを処理することができます。ビュー、プロシージャ、トリガーの本体テキストや、データベース コード ページ外の NCHAR テキストを含んでいる列のデフォルト値の編集で、ワイド文字データ型がサポートされます。また、Btrieve 2 API は、STRING および WSTRING データの ICU (International Components for Unicode) 照合順序を提供しています。



株式会社エージーテック

本社：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17-5 Daiwa神田橋ビル6F

TEL：03-3293-5300 (代表) FAX：03-3293-5270

カスタマーセンター TEL：03-3293-5283 Mail：info@agtech.co.jp

© 2022 Actian Corporation. Actian は、Actian Corporation およびその子会社の商標です。本資料で記載される、その他すべての商標、名称、サービス マークおよびロゴは、所有各社に属します。(SS01-0721)